

社会資本整備審議会 道路分科会 令和2年度 第1回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

令和2年10月8日（水）10：30～11：30

2. 場 所

中国地方整備局 建政部3階 第1, 2会議室

3. 出席者

<委員>

ふじわら あきまさ
◎藤原 章正 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

うちやま せいいち
内山 誠一 中国経済連合会 専務理事

すずき はるな
鈴木 春菜 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授

はしもと せいじ
橋本 成仁 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授

ふくだ きょうこ
福田 京子 地域づくりネットワーク 代表

敬称略、◎委員長

4. 議 題

(1) 「災害に強い国土幹線道路ネットワーク」について

5. 結論

- ・事務局より報告された中国地方整備局管内の「災害に強い国土幹線道路ネットワーク」については妥当であり、強靱で信頼性の高い国土幹線道路ネットワークの構築に向けて、ミッシングリンクの解消、暫定2車線区間の4車線化、ダブルネットワーク化等を進めていくことについても妥当とする。

6. 委員からの主な意見

- 整備の優先順位について、災害時におけるネットワークの役割、他の交通モードとの連携、地域特性など、様々な視点による検討を行い、メリハリをつけた対策実施が必要。
- 都市間や地区内、IC へのアクセスなど、ネットワークの階層性および連続性を考慮した議論が必要。交通の目的（トリップ長など）によって、必要となる代替路は異なる。
- 南海トラフ地震や首都直下型地震などが今後予想される中、全国的な災害時における中国地方の役割を考えることも必要である（広域的な代替性の議論）。
- B/C によらず防災等の観点でストック効果のある道路ネットワークは整備するべきである。そのための財源確保に努めるべきである。